

一
雄
昭
彦

塩化パラフィンの利用研究... (続1組)

井 沢 正

古 田 敏 夫

国 光 嘉

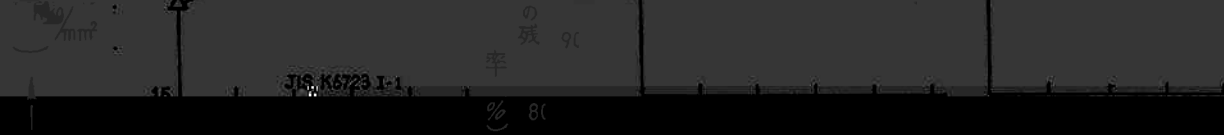
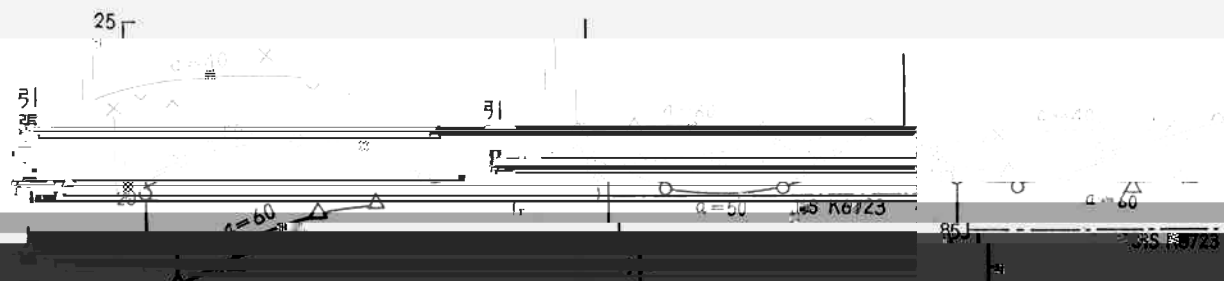
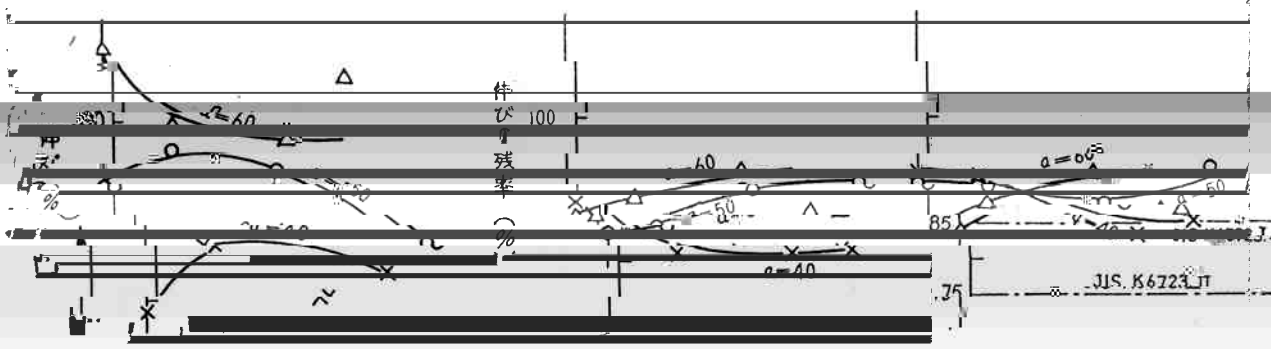
Studying on the Utilization of Paraffin Chloride... (Group 1 continued)

炭 質 炭 質 炭 質

此 重
(30.4°C)

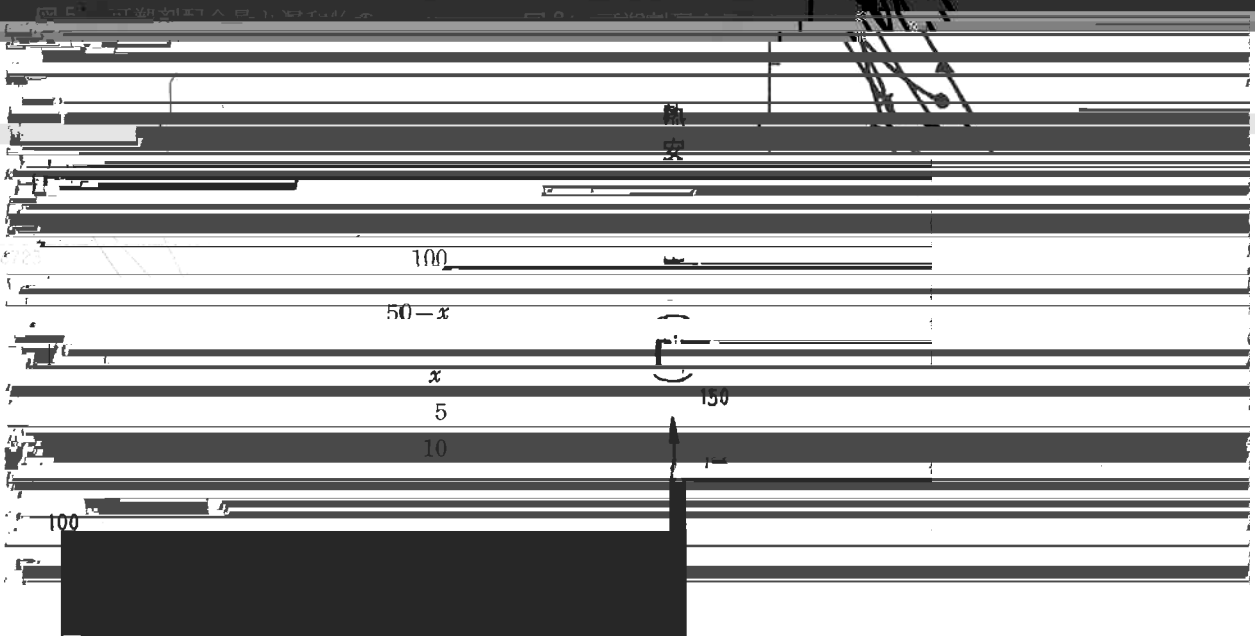
軽微性炭カル
重質炭カル

JIS 2号型ダンベル



0 20 40

0 20 40



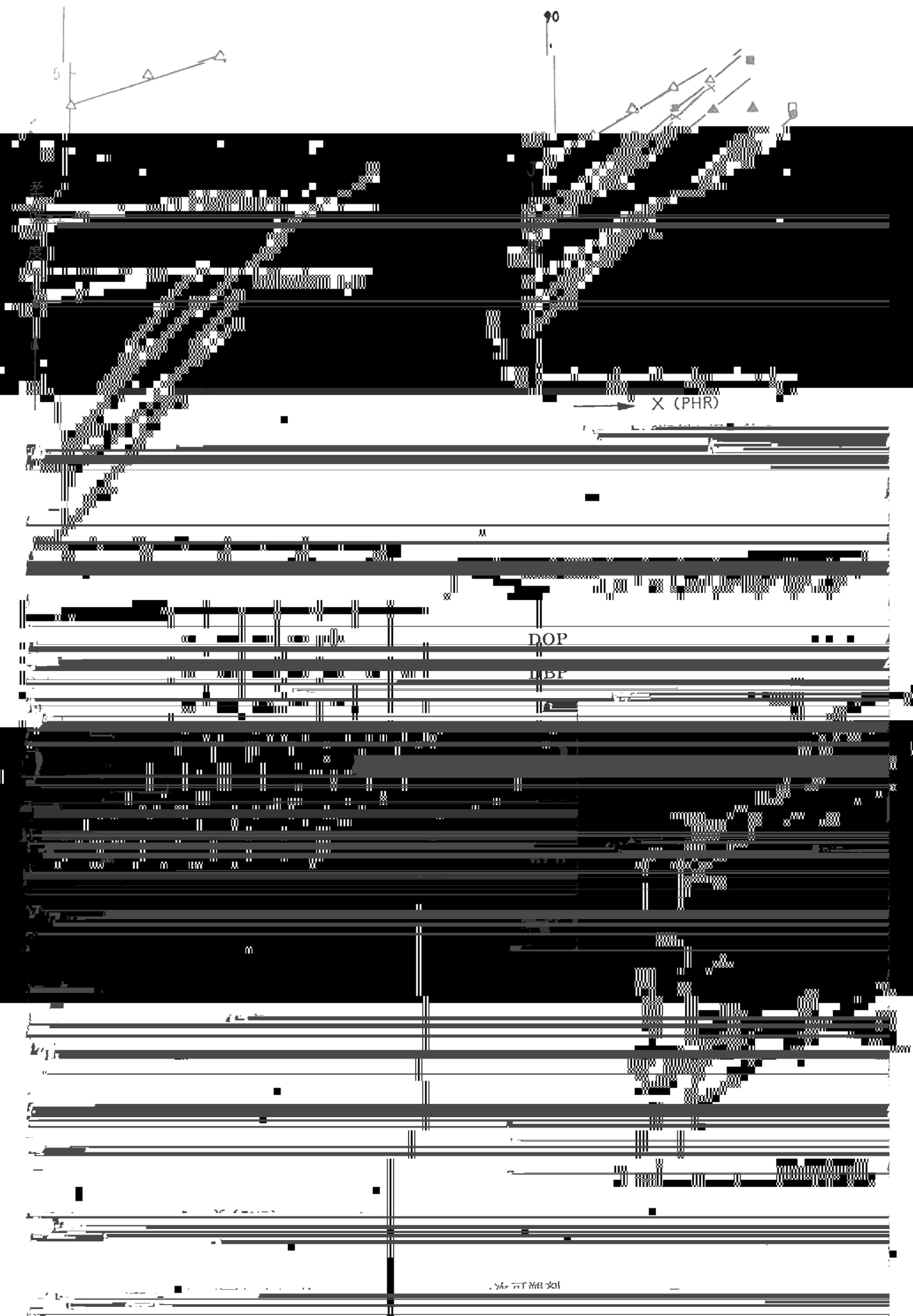


図 1 可塑剤



の増加にともない、著しく低下するが、 $x=10$ 以上

の増加にともない、著しく低下するが、 $x=10$ 以上

塩化パラフィンの利用研究 (第1報)

試験配合	PVC 樹脂	100
	DOP	35
	CP40	15
	安定剤	5
	(Clay #30)	10

表 8 鉛系安

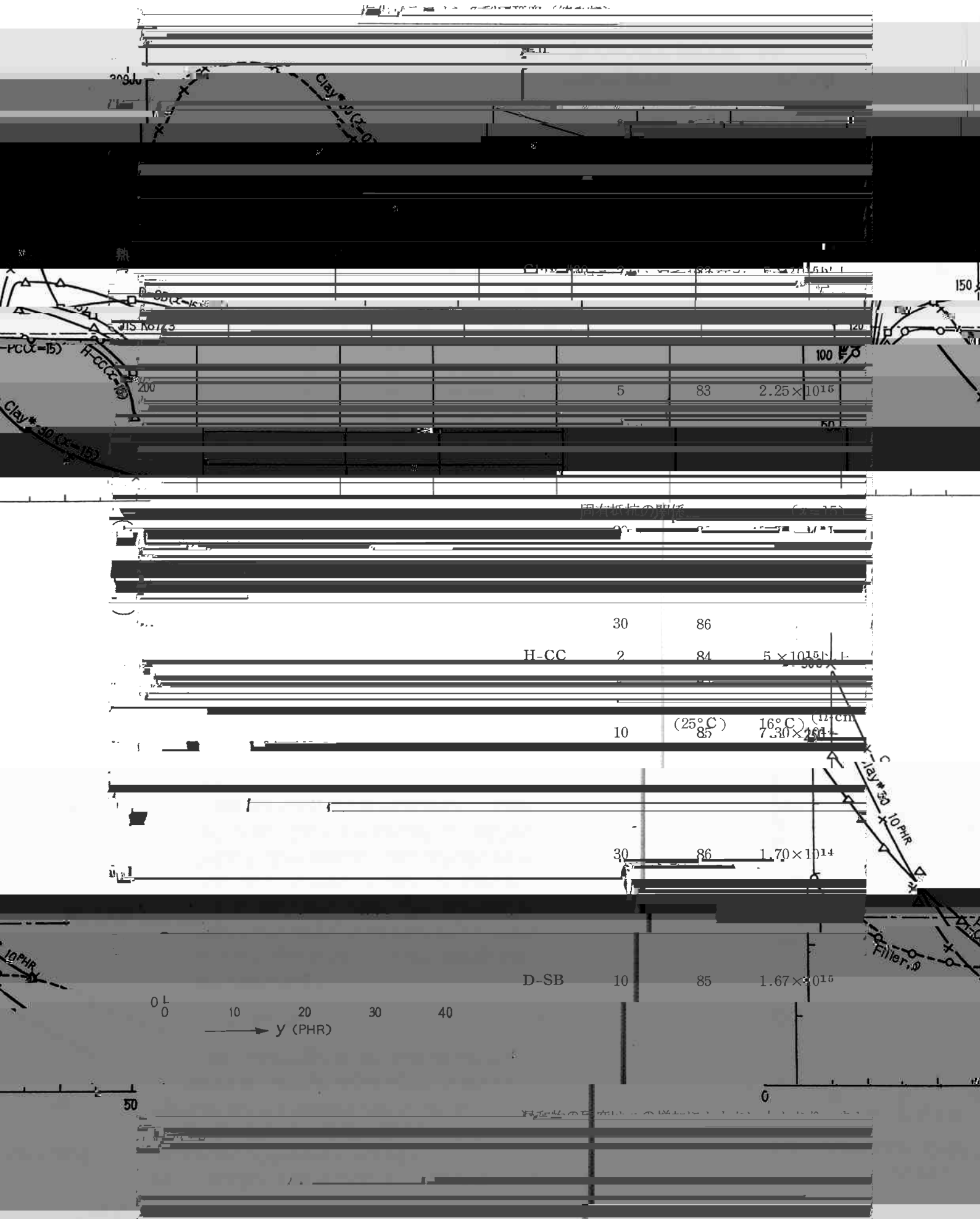
試料名	厚さ (mm)	測定温度 (°C)	耐光性 (外曝時間)	その他
TS	126	(22°C)		
DP	67	(22°C)		
IW	185	(22°C)		
TM	126	(22°C)		

その性能を比較した。

滑

TS-DPS(2)

:2)
:2)
:2)
:2)
:2)



固有抵抗の関係 (C=15)

0 10 20 30 40
 → y (PHR)

50

0

Filler, 0

C
 10PHR
 10PHR

10PHR

塩化パラフィンの利用研究 (第1報)

